

【悔やまれます】



3月17日、卒業証書授与式がありました。卒業生36名。胸を張り、堂々この豊殿小学校を旅立っていきました（「おめでとう」）。

昨年の今頃は、「**来年度こそは、いつものような卒業式ができるはず**」と淡い期待を抱いていましたが……。いやあ、なかなかコロナウイルスはしぶといものです。

でも、今日ほど、いや、今年度の卒業式ほど、「**コロナが疎ましい**」と感じた日はなかったように思えます（確かに、今までいくつかの行事がこのコロナウイルスのために、中止、延期、変更を余儀なくされてきました）。

では、なぜ、このように強く思ったかと言いますと、今年度の卒業式は、昨年度よりも感染が拡大している状況下であったため、子どもたちに式の中での歌を思い切り歌わせてあげることができなかつたのでした。そのことが私の中で、このような思いを強くさせたのであります。

今年度の卒業生の歌声はとても柔らかく、優しい歌声でありました。その歌声を、あの場で存分歌わせてあげたかったし、聴きたかったというのが心底、本音であります。

もちろん、式に臨んだ卒業生の姿は、誰もが凜として清々しく、今できることの精一杯を発揮してくれたことに微塵の疑いもないのですが、自分たちで歌った録音の音と共に歌う子どもたちを見つめながら、「思い切り歌わせてあげたかった」**その思いがただただ胸に突き刺さるくらい沸き上がって来てしまったのでした。**

安全を第一に考えての対応であったので、何が合っていて、何が間違っているかなんてないのだと思うのですが、やはり**卒業式での歌と言うのは、特別なものなんだ**ということ、今更ながらに思い知らされた気が致しました。

3年後の中学校での卒業式。あなたたちの歌声が体育館いっぱいに響き渡ることを切に願う私であります。コロナさんよろしく願いいたします。

【感謝！！】令和2年の5月15日。

この豊殿小に4月からお世話になってすぐに休校となり、来週から分散登校が始まるよ、という時期に、この「校長のつぶやき」をはじめさせていただきました。

「校長のつぶやき」と言いながら、かなりの長い文章で「つぶやきじゃないじゃん」という突っ込みにもめげずに、このつぶやきも入れて48回、つぶやかさせていただきました。

少しでも子どもたちの様子をお知らせしたい一心ではじめたのですが、ふりかえってみますと、意外と説教臭い文章もありまして、いやはやお恥ずかしい限りであります（すみません）。

さて、約2年間にわたりお付き合いいただきました「校長のつぶやき」ですが、私、令和3年度末の人事異動にて、この大好きな豊殿小を去ることになりました。そこで、このつぶやきも、本号で一区切りとさせていただきます。

この豊殿小の子どもたちのように、子どもたちの素敵さを、またどこかで語っていきたいなあとは思っております。その時にはまた、お読みいただけたら幸いです。

今までお付き合いいただきまして本当にありがとうございました。

またどこかで会いましょう。お元気で。